



2017 オートバックス全日本カート選手権 OK 部門 第7戦・第8戦

開催場所 ツインリンクもてぎ(栃木県)
開催日 9月23日・24日
参加台数 OK クラス 24台
天候 雨(土曜日 午前)→晴れ
路面状況 ドライ(タイムトライアル開始時～)

～INTREPID JAPAN CORSE～

監督:佐藤奨二 ドライバー:佐藤巧望

メカニック:伊藤進 エンジン担当:K SPEED WIN
アドバイザー:井上寛之



2017 全日本カート選手権 第7&8 戦の舞台はもてぎへ

全日本カート選手権の最高峰 OK クラスは第7&8戦。舞台は昨年の開幕戦でほろ苦いデビューを味わった地、ツインリンクもてぎ北ショートコースへ。最高峰カテゴリー2年目の今年は事前のタイヤテストから好調で、木曜日の走行でも TOP タイムと絶好調。天気は金曜～土曜日午前までウェットとなったものの土曜日の公式練習までには雨も上がり、路面もドライコンディションとなっていた。今大会は参加台数が24台のため、タイムトライアルのクラス分けは行われなし。全車イコールコンディションのタイムトライアルが始まる。



【タイムトライアル】8位(後に順位が繰り上がり7位)



23日 土曜日の午後 15:20 タイムトライアルがスタート。7分のタイムトライアル。開始から約1分で佐藤巧望選手を含むほぼ全車がコースイン。順調に周回を重ねて最終週の8週目にベストラップ。全体の8位となる。タイムは悪くないものの、あと100分の1秒でも早ければ TOP5に入れただけに「ここ1秒」の集中力はドライバー佐藤にさらに求められる能力だ。しかし昨年の茂木に比べると大きな進化を遂げる佐藤に期待は高まる。



【第7戦 予選】 6位



午後 16:40 に OK クラス第7戦の予選がスタート、スタートに定評がある佐藤は、不利なアウト側スタートでも順位をキープし安定のスタートを切る。ペースも悪くなく特に最終コーナーから3コーナーまではシャーシ特性・エンジン特性を上手く発揮し好調に見える。得意の3コーナー立ち上がりを利用し次のコーナーでパッシングを繰り返し6位でゴール。昨年、苦渋を飲んだ茂木でポイントを獲得する。

【第7戦 決勝】 24位(スタートできず)



第7戦の決勝は日付変わって24日の午前 9:20 スタート。しかし押し掛けでエンジンがかからない…。後に判明するがプラグの不具合の可能性が高いトラブル。電気系、特にプラグは突然に不具合が起こることも多く、仕方ない事とは言え残念極まりない結果となってしまった。第8戦の予選スタートは順位が繰り上がり7位スタート。気持ちを切り替え第8戦に挑む。

【第8戦 予選】 21位(DNF)

第8戦の予選はポールポジションの選手のローリング中のストップにより実質6番手でのスタートを切る、イン側で有利と思われたがスタート直後の1コーナーからスピードに乗ることが出来ない。3コーナーから複合コーナー終わりには複数台の選手にパッシングされてしまう。その後もスピードにのれず順位を落としてしまう。ピットからも不調はあきらかで佐藤はピットへ、悪い流れはなかなか断ち切れずリタイヤとなった。



【第8戦 決勝】 11位

第8戦の決勝は 15:35 分スタート。チームは再度シャーシやエンジンをチェックし万全の状況。予選の行周も少なくタイヤも他の選手よりは残っていると言える。しかしスタート順位は後方で接触によるフロントスポイラーの脱落にも要注意だ。レースは 3 周ほどのデイレイの後スタート。しかし佐藤はポジション取りや不運も重なり最高峰へ、一時コースからはみ出す程で、ロケットスタートを決めて前方を目指すプランは幻に…。しかしスタートから数周がたつとレース展開も落ち着き佐藤は1台、また 1 台とパッシング。結果11位でゴール。かろうじてポイントを獲得した。

事前のタイヤテスト、そして練習走行でも好調を維持していた佐藤。しかし最高峰カテゴリーは一瞬のすきやほんの少しの気のゆるみも許されない。ましてや小さなトラブルさえも大きな代償を払うカテゴリー。なかなか上手にかみ合わないこと多いですが佐藤巧望の進化も早く、結果は出ていませんが手ごたえは感じています。残りは鈴鹿大会の2レースのみとなりましたが、チーム一丸となり頑張ります。

引き続きご声援賜れば幸いです。



ドライバー 佐藤巧望 コメント



第7戦

予選から結構ペースもよく、決勝は、6位スタートだったのですが、トラブルでエンジンがかからずリタイア。

第8戦

第2予選でも、トラブルが続き、ほぼ最後尾スタートでした。自分の中で流れが掴みきれずにじわじわと上がる形になったのですが、結果は11位でした。

練習まで調子良かっただけにレースの結果が悔やまれます。次戦の鈴鹿では自分的にも走りなれているコースなので、満足いく結果が出せるように頑張ります。

INTREPID JAPAN CORSE 佐藤奨二 監督

レースウィーク走り始めから好調で、そのままの勢いでレースを迎え常に上位でレースが出来た事は今シーズン初めてだったので今大会はかなり収穫がありました。
しかし、防げたかもしれないメカニカルトラブルを出してリザルトを残せなかったのは非常に悔やまれます。
今のOKクラスは非常にレベルが拮抗してるので、細かなところを改善し鈴鹿最終戦に挑みたいと思います。

